

開催日及び場所		平成29年9月7日(木)	横浜植物防疫所会議室	
委員		吉武 雅子(大学講師) 菊池 哲史(公認会計士) 田鍋 智之(弁護士)		
審議対象期間		平成29年4月1日～平成29年6月30日		
審議対象案件		129件 うち、1者応札案件26件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件		
抽出案件		7件 うち、1者応札案件2件 (抽出率5%) (抽出率29%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	0件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争	—
			工事希望型競争	—
			その他の指名競争	—
	随意契約	—		
	業務	一般競争	—	
		指名競争	公募型競争	—
			簡易公募型競争	—
			その他の指名競争	—
		随意契約	公募型プロポーザル	—
			簡易公募型プロポーザル	—
	標準型プロポーザル		—	
	物品・役務等	一般競争	7件 うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	—	
		随意契約(企画競争・公募)	—	
随意契約(その他)		—		
(特記事項) 特になし				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答等	
		複合機保守管理業務(コニカミノルタ社製) 複合機保守管理業務(富士ゼロックス社製) ・機種によって予定使用枚数に差があるのはなぜか。 ・富士ゼロックス社の保守管理業務の請負業者は代理店になるのか。 ・複数のメーカーの複写機を導入しているのはなぜか。 ・地方公共団体によく見られる事例であるが、国庫債務負担行為を組んで賃貸借と保守を一括で調達する方法でないと競争は成り立たないのではないかと、現状ではやむを得ないのかもしれないが、例えば他の機関と比較して単価が高い場合は、単価を下げる努力をしてほしいと思う。	予定使用枚数が少ない機器は職員が常駐しておらず、検疫の必要が生じた場合のみ管轄の支所から職員が出向く出張所に設置しているものである。然り。複写機購入の際に当該業者が落札している。  複写機購入にあたり、それぞれ入札を行った結果、異なるメーカーの機種になったもの。仕様は決めているが、メーカーを指定しているわけではなく、賃貸借による調達による場合は、国庫債務負担行為による予算を要求することになるが、保守契約においては予算要求が難しい。	
		労働者派遣業務委託 ・単価契約となっているが、勤務曜日や時間が決まっているのであれば、総価契約でもよいのではないか。 ・人数は何名か。 ・毎年違う方を派遣してもらうのか。 ・毎年交替しても業務ができるものなのか。	休暇を取得する場合があるので、単価契約で運用している。  1名である。  然り。  業務内容としては、庶務課庶務係及び会計係の補助であるため、特に問題はな	
		動物検疫所関西空港支所検疫探知犬飼養管理業務 ・平成28年度は時間単価による契約であるが、平成29年度は日額単価による契約となっている。時間単価から日額単価に切り替えた理由は何か。 ・請負業者は会社名だけ見ると当該業務を扱える者に見えないが。 ・飼養管理マニュアルに「犬を可愛がらない、必要以上に触れない、犬の目を見ない」という記述があるが、この記述は必要なのか。	この業務は探知犬が関西空港支所に導入された平成27年度から開始したものであるが、平成27年度は日額単価による契約であった。平成28年度に時間単価による契約にしたが、委託業者が行う飼養管理が1日あたり4時間程度であったため、その他の時間における担当ハンドラーの負担が増え、結果として費用の面でもメリットがなかったため戻したものである。 動物を扱う部署を設けており、対応は可能である。会社のホームページにもその旨を謳っている。 必要以上に可愛がってしまうとハンドラーの言うことを聞かなくなり探知業務に支障が生じるので、必要最小限のスキンシップに留めるよう記載しているものである。	
		動物検疫所で使用する電気供給 動物検疫所神戸支所検疫場で使用する電気供給 ・応札者が増えた理由は何か考えられるか。	正直これという理由は思いつかない。平成28年度は結果として一者応札にはなったが、入札説明書を取りに来た業者は何者かいた。	
		平成29年度家畜防疫官官服単価契約 ・家畜防疫官の官服は毎年購入する物なのか。 ・応札業者は全て服を製造している業者なのか。 ・仕様の見直しは行っているのか。 ・貸与を受けていた職員が家畜防疫官から外れた場合はどうなるのか。 ・植物防疫所と一緒に調達はできないのか。	貸与規定で更新年限が決まっており、その年限が到達した際に古くなった物について、調整の上、更新している。 然り。制服を扱っている業者である。  告示で仕様を決めており、簡単には変更できないため、デザインはずっと変わっていない。 人事異動などで家畜防疫官から外れた場合には、その時点で返却してもらうことになる。また、廃棄する際にはボタンや紋章は外すことになっている。現段階では仕様も予算も分かれていることから、別々に調達を行っている。	
		委員会による意見の具申又は勧告の内容  [これらに対し所長が講じた措置]	特になし	